慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	献辞
Sub Title	Preface
Author	神谷, 傳造 川又, 邦雄
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1990
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.82, No.特別号-I (1990. 3) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	福岡正夫教授退任記念論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19900301-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

献　　辞

福岡正夫先生がめでたく定年をお迎えになり，今年3月に慶應義塾大学教授を退任なさることとなった。それを記念してとくに編集されるのが本号である。先生は，昭和22年助手に御就任になって以来，今般の御退任までの在職期間は実に43年の長きにわたる。その間，研究者として理論経済学最先端のお仕事の傍ら，教育，学校行政にわたって慶應義塾に多大の貢献をなさってきたことは周知のとおりである。昭和30年に発足した福岡研究会は，この春に最後の第32期生を送り，歴代卒業生の総数は千人を超える結果となった。卒業生たちはいま産業界，官界，学界において，それぞれ重要な役割りを担い，目ざましい活躍を示している。先生の影響の大きさを称えつつ本号を世に送る次第である。

先生のこれまでの御研究の全貌を知るには，主著『一般均衡理論』と，還暦を記念して編集された論文集『均衡理論の研究』を読むにしくはない。これらの標題から知られるように，先生の御研究の中心は「一般均衡理論」にある。それは狭く解するならば，ワルラスの『純粋経済学要論』に始まる抽象市場経済の純粋理論を指し，広く解するならば，相互依存関係の中に展開する経済現象を連立方程式系の形で把える理論全般を指す。経済学への先生の貢献はその双方にわたっている。

先生の御研究の意義を正しく知るには，一般均衡理論研究における過去約40年間の情況について知らなければならない。この理論が多数のすぐれた経済学者によって彫琢が加えられ，科学としての経済学の基礎として認知されたのはまさにこの時期においてにほかならない。それは，ちょうど先生が経済学者としてこれまで活動をされてきた時期とほぼ一致する。数学による分析を知る者すら少数であった経済学者集団の中で，高度の数学の使用が不可避である一般均衡理論の意義を認識し，研究を推進していくのは容易なことではなかった。科学としての経済学の伝統の浅い日本では，困難は一層大きかったと想像される。そのような情況の中で，先生は早くから一般均衡理論の重要性を認識なさり，新展開の最先端にある理論を海外から摂取しつつ，それに先生独自の改良を加えておいでになった。理論そのものの改良と理論体系全体の日本への定着，その両方において，我が国の学界は実に多くを先生に負っている。

慶應義塾において先生の講義を聴く機会に恵まれた者は誰でも，そこで，最先端の最も難解なはずの理論が実に分かり易く説かれたことを思い出すであろう。それは，先生の卓抜な表現力だけではなく，説かれる対象についての透徹した理解があってはじめて可能なことである。一般均衡理論の発展過程での先生の役割を考えるならば，先生の講義がなぜそのようなものであったかがよく理解される。本号に集められた論文は，そうした講義に育てられた者たちが先生に捧げる感謝のしるしである。

慶應義塾大学教授からの退任は教育者からの退任ではなく，まして研究者からの退任ではない。先生はこれからもなおしばらく慶應義塾の内外で教鞭をお執りになるであろうし，また研究面でも「貨幣と均衡」に関する御著書の公刊を計画しておられるようにうかがっている。いつも変らぬ若々しさをもって研究に専念される先生のお姿を，これからも永く見続けることができるようにと，心からお祈り申し上げる次第である。

1990年2月

神　谷　傳　造

川　又　邦　雄